

森のスズメを調べよう

結果発表 2012

あいち海上の森センターは森に囲まれていて、様々な鳥や昆虫、植物を観察できますが、なぜかスズメは、春から夏の間しか観察できません。そこで、この時期にスズメは何をしているのかを、職員だけでなく、来館者にも呼びかけて、調べてみました。



あいち海上の森センター
瀬戸市吉野町304-1
TEL : 0561-86-0606
Mail : kaisho@pref.aichi.lg.jp
HP : <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>
Twitter : http://twitter.com/kaisho_center

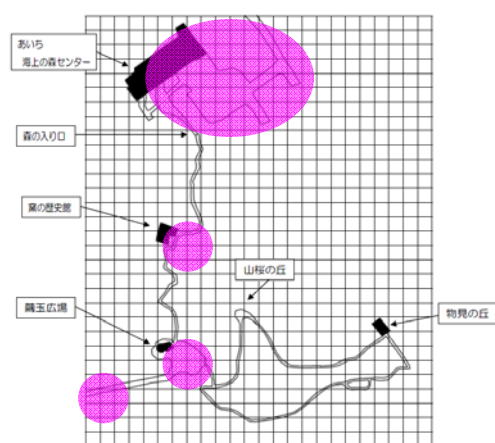
5月

今年、センター周辺で初めてスズメを観察できたのは5月9日でした。センター周辺で1羽、窯の歴史館周辺で2羽、繭玉広場で2羽観察でき、同時に見る個体数は少ないですが、センター周辺に広く飛来しているようでした。ちなみに過去3年間の初認日は、平成21年と平成22年が5月2日、平成23年が6月5日でした。

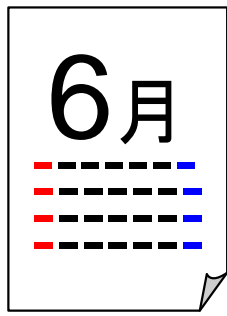
スズメは、センターや森の中に巣を作っておらず、センターから北西の方向へ移動したり、繭玉広場へ、その南に位置する愛知工業大学の方向から移動してくる様子が見られました。巣はどうかセンターから少し離れた場所にあるようです。

16日と22日には、センターの近くでスズメがイモムシを捕まえている様子が見られました。親鳥が昆虫の多いセンター周辺へやってきて、ヒナのために餌を運んでいたのではないかと思います。

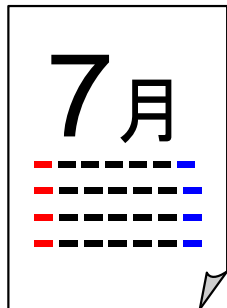
27日に10羽以上の群れが現れ、その中に初めて幼鳥（巣立ちヒナ）の姿が見られました。幼鳥は、親鳥よりも色が淡く、嘴の根元が黄色いのが特徴です（写真）。餌をねだるように鳴く姿も見られました。スズメは孵化してからおよそ14日で巣立ち、その後約10日間、親鳥から餌をもらって過ごすそうです。



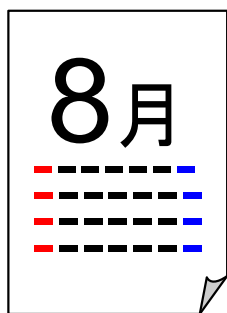
確認できた場所



8日頃に梅雨入りし、その後雨天が続いたためか、上旬の間はスズメをまったく観察できませんでした。台風4号が接近する直前の19日になってようやくスズメを確認し、その後、センター周辺で数羽が観察されるようになりました。センター周辺以外では、19日に南門付近で、1羽だけ観察できました。



上旬は6月と同様、雨天が続いたためほとんど観察できませんでした。23日頃に梅雨明けすると、センター周辺で見られることが多くなりました。センター周辺以外では、24日に窯の歴史館付近で、樹上で何かを食べている数羽が観察されました。

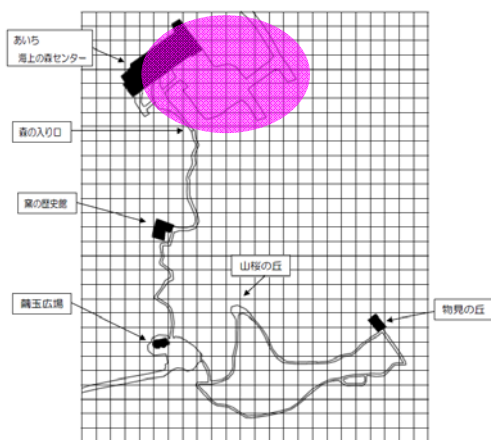


上旬はセンター周辺に最大8羽が現れ、群れて餌を探す様子が見られました。3日に観察した8羽はすべて幼鳥だったので、親鳥から餌をもらう時期が過ぎ、幼鳥だけで群れをつくるようになったと考えられます。

3日の昼に、センター駐車場の樹冠内で餌を探すスズメ3羽を観察しました。このスズメたちは、メジロ2羽が別の木へ移動すると、少し遅れて同じ木に移動し、まるでメジロを追いかけているようでした。しかし、続けて少し離れた木へメジロが移ったときには、スズメは移動しませんでした。もしかしたら、追いかけていたのではなく、たまたま行動が似ていただけなのかもしれません。



メジロ



確認できた場所

3日の夕方には、8羽の幼鳥の群れがセンター駐車場で、地面に落ちた草の実を食べていました。メヒシバの穂にまだ残っている実も、ジャンプして懸命についばんでいました。



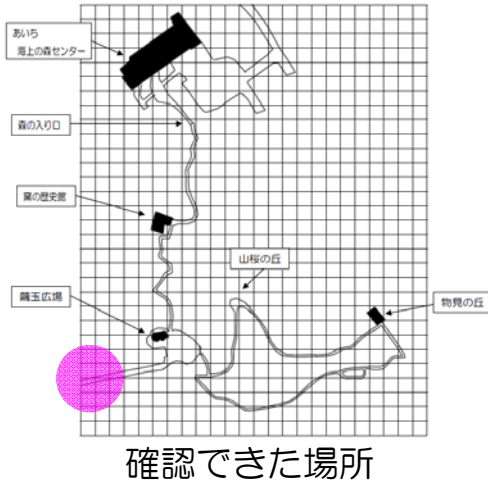
ここにスズメの幼鳥が潜んでいます。高く伸びるメヒシバの穂に向かって、一生懸命ジャンプしていました。



メヒシバ

15日の朝、吉田川沿いの草地にいる20羽の群れが観察されたのを最後に、センター周辺ではスズメが見られなくなりました。その後、北西の方向にある田んぼで群れが観察されたので、スズメは生活の場を田んぼに移したものと考えられます。ちなみに過去3年間の終認日は、平成21年が8月9日、平成22年が8月8日、平成23年が8月23日でした。

9月~



◎9月以降、センター周辺でスズメの姿はまったく見られなくなりました。しかし11月になって愛知工業大学の敷地内から鳴き声が時々聞こえるようになり、27日には南門付近に飛来した個体が観察されました。また、平成25年1月5日に、南門上空を通過していくスズメ4羽が見られました。愛知工業大学周辺に生息するスズメは、秋以降も南門周辺を生活の場として利用しているようです。

— まとめ —

今回の調査から、スズメは5月になるとセンター周辺に飛来するようになり、最初は親鳥がヒナに与える昆虫などの餌を獲るために飛来し、5月下旬からは巣立ちヒナを連れて行動するようになり、梅雨時は見られる機会が少なくなりますが、梅雨が明けてから8月にかけては幼鳥の群れが餌獲りをするようになり、8月下旬には田んぼへ移動することが分かりました。



今回の調査には、来館者4名もご協力くださいました。誠にありがとうございました。センター周辺のスズメの行動についてはまだ分からないことがいろいろあります。新しい発見がありましたら、ぜひセンターにご連絡ください。よろしくお祈いします。

— 平成24年5~8月の記録 —

月	日	天候	観察時刻																	観察場所・のべ個体数					観察した行動				備考						
			8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	センター周辺	窯の歴史館	南門付近		物見の丘	飛翔	樹冠内	地面	採餌	
5	9	曇																						1	2	2								平成24年の初認。	
	11	晴				○																		2											
	15	雨																						1						○					
	16	晴																						1						○					イモムシを捕らえていた。
	18	曇																						1					○	○					
	21	曇		○																				1					○						
	22	雨																						7					○	○					イモムシを捕らえていた。
	23	晴			○																			1						○					
	27	晴																						10+					○	○					幼鳥を含む群れを初めて観察した。
	29	曇			○																			3					○	○	○	○			少なくとも1羽は幼鳥だった。
	30	曇		○																				3					○	○					
6	8頃																																		梅雨入り
	19	曇				○																		1					○						
	21	雨	○																					1					○		○				幼鳥。ガを追いかけたが捕食できず。
	23	曇	○																					3+					○						
	27	曇																						2+					○						
	29	晴				○																		2					○	○					
	30	曇																						3					○	○	○				少なくとも1羽は幼鳥だった。
7	4	曇																						1					○	○	○				
	12	曇																						7					○	○	○				
	23頃																																		梅雨明け
	24	晴		○																				2+					○			○			木の実にしきものを食べていた。
	27	晴																						2+					○						
	28	晴			○																			11					○						
	30	晴																						5					○	○					
8	2	曇																						2					○	○					
	3	晴																						8					○	○	○				少なくとも2羽は幼鳥。メジロ1羽も一緒に行動していた。
	4	曇																						7					○	○	○				うち3羽は、メジロ2羽が別の木に移動すると追いかわけるように移動していた。
	11	晴																						4					○	○					全て幼鳥。メヒシバの実をジャンプしながら採餌する様子が見られた。
	14	雨				○	○																	5			1(場所不明、林の中)		○	○	○				草の実を採餌していた。
	15	曇																						20					○	○					吉田川沿いの草地で群れていた。